

運動して心身ともに元気に

広安町民第2グラウンド落成式

広安校区に新しく誕生した「広安町民第2グラウンド」の落成式が7月20日に行われました。式当日はあいにくの雨でしたが、完成したグラウンドを一目見ようと地元関係者など、50人の参加者がありました。

開会式で住永町長は「地元住民に負担がないように、できる限り今まで使っていた場所と近い場所に建設したかった。この計画は地元の人たちや、地権者のご協力、ご理解があったからこそ達成できたと思う。無事に落成できて心から感謝し



落成にあたって謝辞を述べる宮本校区会長と参加者



始球式を行う川口宗人さん

ています」とあいさつし、地権者などに感謝状を渡しました。新グラウンド落成に対し宮本茂広安校区会長(福富)は「新しくできたグラウンドの建設に関わった人全てに、地元住民を代表して感謝します。この施設を活用して地元住民が心身ともに元気になることを目標とします」と謝辞を述べました。

式の終わりに、住永町長、川口宗人さん、宮崎鉄男さんの3人で始球式を行いました。

各施設のあり方を議論

公の施設のあり方検討委員会



会長に選任された井田貴志氏

6月29日、第1回益城町公の施設のあり方検討委員会が、役場3階大会議室で開催されました。

公募委員2人を含む10人で構成されている検討委員会ではまず、住永町長から梶原一生氏(熊本産業文化振興株式会社代表取締役)・グランメッセ熊本指定管理者)に委員を代表して委嘱状が交付され、会長に井田貴志氏(県立大学総合管理学部教授)が選任されました。

今後、検討委員会は町長からの諮問を受け、福祉施設(葉山荘、町民憩の家)、レクリエーション・スポーツ施設(総合運動公園内スポーツ施設、各グラ

ウンドなど)、文教施設(文化会館、交流情報センター、男女共同参画センター)、給食センター)の順に検討を行い、各施設の今後のあり方(方向性)について町長に答申を行う予定です。



検討委員会の様子